

Rotary



Rotary Opens Opportunities



ロータリーは 機会の扉を開く



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規

幹 事 田 原 聖

会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2889号 2020年10月27日(晴れ) 第15回例会 会員数120名 列席多数



点 鐘 渡邊 有規会長
司 会 副SAA 小林(弘) 会員
◇ロータリーソング コロナ感染防止のため割愛
◇本日のディナー スペシャルディナー

新会員入会式

紹介 渡邊(有) 会長

氏 名 半田 雅一(はんだ まさかず)

年 齢 55歳

事業所名 (株)足利銀行 宇都宮中央支店

役 職 支店長

職業分類 銀行

所 在 地 〒320-8620 宇都宮市大通り1-4-16

電話番号 028-622-7485

FAX番号 028-621-9852

推 薦 者 渡邊有規 会員 田原 聖 会員

※前任の八田欣弥会員は転勤のため退会。



ビジター紹介 倉井会長エレクト

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,577名

大田原中央RC 川口篤史様(地区会計長)

◇公益社団法人 栃木県経済同友会

筆頭代表理事 中津正修様(卓話講師)

同 行 トヨタウッドユーホーム(株)

経営本部経営企画部 部長 堀江則行様

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆様、こんばんは。久しぶりの夜間例会ですが、大勢の方々にお越しいただき、ありがとうございます。

先週の金曜日に地区大会記念ゴルフ大会がございました。当クラブからは約30名が参加いたしました。団体ではおしくも4位でしたが、大変奮闘していただきました。参加した皆様へ拍手をお送りください。日曜日の地区大会には、私と田原幹事、倉井会長エレクト、太城パストガバナーが参加いたしました。2時15分~4時30分まで、大田原中央RCの方々のしっかりと進んで行われました。内容につきましては、次回の例会で報告いたします。

また、本日の卓話では中津会長にお越しいただきました。中津会長はトヨタウッドユーホームの取締役会長、そして栃木県経済同友会の筆頭代表理事ということで、栃木県の経済界を牽引していただいている方です。私の大学の先輩でもあり、建築業界で輝いて頑張っている姿に憧れておりました。本日は是非ということ、中津会長にお越しいただきました。どうぞよろしく願いいたします。



幹事報告

田原幹事

◇クラブ年次総会の「選挙」に関するお知らせ

2021~22年度のクラブ年次総会をクラブ細則第5条第1節の年次総会の規定により12月1日に開催します。役員である会長(次々年度)、副会長、幹事、会計、SAAおよび8名の理事ならびに2名の会計監査の選挙を行います。

◇来週11月3日は祝日のため例会は休会。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 小林副SAA代読
川口篤史様

地区大会ゴルフ記念大会では、28名とたくさんの方にご参加頂いて本当にありがとうございました!感謝申し上げます。また、本日は結婚式場よりご依頼があり、ボランティアの案内をお持ちさせて頂きました。宇都宮に知り合いがなく、ご協力頂ける方を探しておりますので宜しく願い致します。

野口忠男会員

久しぶりに参加した大人の休日ゴルフで、ハンディキャップ67を貰い優勝しました。



卓話

「起業して45年 今になって思うこと」

公益社団法人 栃木県経済同友会

筆頭代表理事 中津正修様

皆さん、こんばんは。経済同友会にいくらか重心を置いて話をさせていただきます。経済同友会は全国では44都道府県にあり、経済三団体の一つで、行政に対して提言を出すという大きな目的をもっている団体です。

－ レジюмеに沿って説明 －

はじめに自己紹介をさせていただきます。1948年生まれ、1971年に大学を卒業し、ゼネコンで4年半勤め、1975年に全財産15万円、家内と二人で宇都宮へ来ました。知り合いは一人もいませんでした。アパートを借りるために小さな不動産屋の社員となりました。そこで建築部を設立させていただき、1975年10月13日、社内創業の形で住宅をスタートしました。1994年、東京証券取引所市場二部に上場をはたしました。関東以北の住宅会社では当社が初めてでした。1997年トヨタ自動車と企業提携、2002年上場廃止、その10月にはトヨタの完全子会社となりました。経営権を私が預かりましたので、鉄骨のユニットのトヨタホームとはまったく別の経営手法で今までやってきたところであります。

世の中の現状について少し触れさせていただきます。世界を見ると幾つかリスクがあります。まず、想定を超えた自然災害。日本でも、去年の台風15号では私のいた千葉がだいぶやられました。19号での洪水では当社の分譲地は水浸しになりました。世界規模の中で起きております。もうひとつは、アメリカと中国の貿易摩擦で、これまでにない激しい戦いとなっています。そして、新型コロナウイルスの世界的蔓延です。

新型コロナウイルスは、世界規模で増えております。昨日現在で日本では97,573人が感染、1,729人がお亡くなりになられています。世界では43,504,448

人が感染し、1,159,533人の方が亡くなられています。それだけ世界経済が活動しているということになりますが、あっという間に感染が広がりました。我々の見方からすれば、新型コロナウイルスの感染症対策と社会経済活動の両立を、どうしても図らざるを得ません。GoToキャンペーンとか、賛否両論はありますが、経済を止めることによって国が破綻することもあり、国は非常に難しい舵取りを要求されています。そのために必要なことを私なりに3つ考えてきました。一つは検査体制の拡充、2番目は医療体制の確保、3番目は有効なワクチンの十分な確保です。経済は今、戦後最悪という状態です。コロナ禍でやらなければならないことは、一つは雇用の確保です。また、事業継続のための対策で、これは喫緊の課題です。また、コロナ禍でわかったことですが、日本のデジタル化の遅れと東京一極集中というリスクで、この2つが具体的に見えてきました。政府では基礎的財政収支を2025年度に黒字化する目標でしたが、どんどん遠のいてしまっています。成長戦略も遅れています。

今年はオリンピックの年で、旅行会社、その他で、通常であれば、7月、8月は多くの外国人を受入れていたと思います。コロナにより、3次産業はとてつもないダメージを受けています。3次産業は人から人へ繋がるビジネスで、コロナの影響を一番受けやすいと思います。我々住宅業界も今年度は73万戸まで減少するだろうと言われていました。これはリーマンショックの時より下回ります。民間企業の調査によると、2040年には、新築着工戸数は41万戸まで減少するという統計がでています。住宅産業は典型的な内需産業の基幹産業です。家一軒建ちますと、その家に絡んだ消費が産まれると言われていました。こういったものがすべて崩壊していくということを考えるとこれから恐ろしいような時代が待っているのかもしれませんが、リフォーム事業は継続的に微増していくと思われ、新しいGDPを作っていくということで、我々業界も動いております。